

第5回 学校生活部会 会議報告

日 時:令和8年6月17日(水)

17時～18時30分

場 所:岡谷西部中学校 応接室

○次 第

1.開会

2. 自己紹介

3.議題

(1)学校生活部会の役割及びこれまでの検討・方針決定事項の確認

(2)学校行事活動等の検討について

(3)日課表の検討について

4.意見交換

5.閉会

○部会で出された主な意見

【これまでの検討・方針決定事項について】…資料No. 2 参照

▶制服・カバン・学校のきまりについて

・令和9年度の開校時の制服変更は見送り、変更する場合は令和10年度以降に実施する方針を再確認した。今後、生徒が主体となって制服のあり方を検討する「制服検討委員会」を各中学校で立ち上げ検討していく。今年度は制服業者からのプレゼンの機会を設けることが出来たらと考えている。

・カバンについては、小・中共に令和8年度中に一部改良する方向で進めていたが、市内業者より新規製造を停止したい旨の申し出があり、令和9年度以降のカバンについては校長会主導で9月位を目途に新しいカバンについて選定中。

・生徒手帳(学校のきまり含む)については、校章がいつ決まるか不確定であったり、名称変更等に伴う改訂や細かい修正等の発生が予想されるため、冊子ではなくカード式の身分証明書にQR コードを表示し、読み取ることで生徒手帳の中身を確認できる形へ移行する案が委員から出された。コスト削減や、生徒主体のルール見直しに柔軟に対応できるメリットがあり、既に南部中学校で採用しているため、参考にする。

▶児童生徒会および部活動について

・当面は4～6年生を児童会、7～9年生を学友会(生徒会)として活動する方針。小中学校の委員会数をある程度合わせ、学期に1回程度は小中合同で企画を実施するなど、無理のない範囲で交流を進めたらどうか。

【学校行事活動等の検討について】…資料No. 3 参照

▶開校式・入学式・卒業式について

・開校式は学校主導ではなく、市、教育委員会主催による実施であることを確認。総務部会で今後検討を進めていく。基本、開校式は2年生以上が参加し、その後入学式を行う形。

・新7年生(現6年生)は前年度に卒業式を行っているが、義務教育学校への編入という形になるため、入学式は新1年生のみを迎え入れる形で実施することになる。

・前期課程修了式(現行の小学校卒業式)について、当面は保護者の思いに寄り添い、節目として式典を実施する方向で、将来的には簡略化していくこととなるが、それまでには移行期間が必要である。

・前期・後期課程修了書、卒業証書、卒業証明書などについて確認する話があった。川岸小学校で卒業証書をもらった学年と前期過程終了書をもらった学年では、卒業の際に渡す証書に違いがあるのではないかとと思われるので確認する。

・中学校の入学式が無くなるが、保護者代表の謝辞も無くなるため、いい面もある。保護者の間で謝辞を決めるのに苦労することから、保護者の負担軽減の観点からも廃止を検討してもよいのではないかと。既に謝辞を行っていない学校もある。

▶運動会・体育祭について

・令和9年度は、大きな変更はせず前期課程の運動会は5月、後期課程の体育祭を秋に実施する案が示された。

・将来的な展望として、義務教育学校となってから10月の体育祭の時期に小中合同の「体育フェス」のような形で、地域も入れた行事になってほしい。

・運動会に代わる小中合同の体育フェスの実施に向けては、組体操などの小学校特有の演目がなくなることに対する保護者の心情へも配慮が必要であり、全く新しいものに移行するにも期間を要すると思う。

▶部活動について

・部活動は休日の地域移行が進められているが、平日は学校での活動が残る見通し。部活動において、月に1回程度、前期課程の児童が体験や見学できる機会を設ける案が出された。

▶音楽会・文化祭・参観日について

・後期課程の文化祭に前期課程の児童が参加する機会を増やしたり、前期課程の音楽会に後期課程の生徒(合唱や吹奏楽部)が参加するなどの交流案が示された。

・11月のふれあい参観日は、川岸小における伝統的な PTA 主導による参観日であり、保護者による職業講話が現在行われている。今後は小中合同で実施し、キャリア教育の場とする案が出された。

・参観日の日程について、前期課程と後期課程で同じ日に半日ずつ分けて実施するなど、兄弟がいる保護者の休暇取得への配慮、工夫も必要との意見が出された。

【日課表の検討について】…資料No. 4 参照

▶授業時間と清掃について

・前期課程と後期課程の時程を合わせるため、中学校の授業時間を50分から45分に短縮する案が提示された。R9 日課表について、清掃の時間帯が、前期課程(給食後)と後期課程(授業終了後)で異なっている点や、中学校の無言清掃の文化をどう統合していくかについて、今後調整していく。

・後期過程の授業時間が5分短縮によって生じる時間を「学びの時間」とし、総合的な学習や補充学習、児童生徒会の時間として活用する案が出された。45分授業化について、中学校教員からは対応可能との意見があったが、教科によって異なるため、中学校の中で丁寧に検討を進める。

【今後の進め方】

次回は、令和8年8月31日(月) 17時30分～開催予定。